

教員名	溝口 哲郎	所属学科	国際学科
<p>【ゼミでは何を学ぶのか】</p> <p>経済学的な思考の基礎・応用とその展開を学ぶゼミです。主なテーマは、日本の上場企業などの具体的な企業活動に関する研究、そしてトークンエコノミーなど、新しい経済の潮流に関する内容を学ぶことを主眼とします。</p>			
<p>【どのように学ぶのか】</p> <p>2年・3年次では、経済学的思考の基礎を学び、それを応用する力を養います。以下の①～③の項目を中心に勉強、グループで発表を行ってもらいます。最終的には他大学とのインターゼミナールでゼミ生がトピックを選んで、それについて何らかの経済学的考察を入れた発表をしてもらいます。</p> <p>①ゼミ生自身が興味のあるトピックを英字新聞や日経新聞、雑誌、インターネットの記事などからピックアップして、それについて発表してもらいます。その際にはなぜその記事を選んだのかなどの理由を踏まえて、発表してもらい、ゼミの中で皆さんと議論していく予定です。</p> <p>②日本には2018年12月現在で3720社の上場企業があり、どのような企業があるのか全体像を知ることは、将来就職する際にも大切なことである。そこでゼミ生の皆さんには、会社四季報から自分の興味のある企業を数社選択してもらい、その企業活動について企業分析を行ってもらいます。これらの分析から、日経ストックリーグ等に活かしていくようにしていきたいと考えています。</p> <p>③シェアリング経済、トークンエコノミー、暗号通貨などの新しい経済のあり方について学んでいく予定です。時代が大きく変化していく中で、金融などの在り方も変化しています。そのような新たな動きについても各人が興味をもって勉強をするということになります。</p> <p>①～③によって自分の興味を深めていくことによって、問題意識を高め、最終的に卒業論文へと発展させていく予定です。その際には2・3年次で培ってきた経済学的思考を応用して、何らかの政策提言を行うことがゼミナールでの最終目標になります。</p>			
<p>【学んだことはどのように生かせるのか】</p> <p>現代社会を動かす基礎的な学問である経済学をベースにした思考法はどの分野で応用可能です。またゼミナールでの発表を通じて、基礎的なリサーチ能力を培います。ゼミナールで協働し、発表することは自分のプレゼンテーションスキルを高め、チームで仕事をする上で役立ちます。また異なる背景を持つゼミナールのメンバーと協働す</p>			

ることによって、多様性を理解することにつながります。卒業進路としては、金融、
商社、官公庁など多様な方面への就職が考えられます。

【おすすめの入門書・基本テキスト】

安藤至大『ミクロ経済学の第一歩』（有斐閣）、デイヴィッド・パーチ『ビットコインはチグリス川を漂う』（みすず書房）、レイモンド・フィスマン&エドワード・ミゲル『悪い奴ほど合理的』（NTT出版）

【まだ見ぬ君へのメッセージ】

大学時代は高校時代とは違い、自分で主体的に学ぶための時間が取れる貴重な4年間です。大学をとことん利用して、世界を体験し、自分の好奇心の赴くまま自分の成長につながられるような行動を積極的に行ってほしいです。そのサポートをしていきたいと思います！